

貴社の 危機管理対策 は始まっていますか？

企業の危機管理対策はますます重要性が高まっています。
危機管理のファーストステップ、手軽に導入できる非常用電源を。



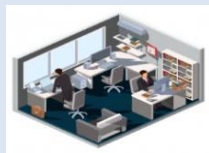
『ポータブル蓄電池【エネボルタ】』は「停電時」や「屋外作業」などで、電源を確保したい時に『持ち運べるコンセント』として、さまざまなシーンでお使いいただけます。

● 他の非常用電源との比較

電源の種類	発電するには	蓄電・保管は	低騒音	その他の充電方法	課題	日常業務での使用機会	コスト
ポータブル蓄電池 エネボルタ	充電が必要	自然放電が少ない 長期保管可能	○	市販の太陽光 パネルで充電が可能	長期保存の場合、定期的に 残量確認が必要 (3~6カ月間隔を推奨)	◎ 多い 屋内・屋外問わず (※非防水)	◎ 導入コスト 低い 運用コスト 電気代のみ 日常業務で回収が可能
燃焼系発電機	燃料が必要	発電機自体には 蓄電しない	×	×	燃料の管理に危険が伴う エンジン音や排気ガスに 注意が必要	○ 少ない 屋内では使用が 限られる	○ 導入コスト やや高い 運用コスト 燃料代+電気代
マグネシウム 空気電池	水が必要	長期保管可能	○	×	使い切り 出力がUSBのため、用途が 携帯電話の充電のみ	×	△ 導入コスト 低い ただし用途に限られる

● 導入事例 ～ こんなところでお使いいただいております。

● 非常用電源として



オフィス内の防災用非常電源として活用できます。また価格もリーズナブルなので本社だけでなく各支店への配布が低予算で出来ることも評価されています。

● 非常用トイレ・介護トイレの補助電源として



東日本大震災では多くの行政、企業、避難所で採用された非常用トイレ。その補助電源とされています。また、介護用のトイレの電源としても活躍します。

● 屋外での音響機器の電源に



日常から使用できるのがポータブル蓄電池の特徴。幼稚園や保育園では配電設備のない園庭でマイクや音楽に使用するアンプの電源として手軽に運動会や式典に活躍できます。

● 屋外イベントでIT機器を稼働



パソコン、インクジェットプリンターとポータブル蓄電池を組み合わせると領収書や書類の発行に使用することも出来ます。暗くなった時に、LED照明をつなぎ明かりを確保することも可能。